

令和4年度

財政援助団体等監査報告書

雲南市監査委員

## 目 次

第1	監査の種類	1
第2	監査の対象	1
第3	監査の期間	1
第4	監査の主な実施内容	1
第5	監査の着眼点	1
第6	監査の結果	2
第7	むすび	7
参考資料		
第1表	株式会社キラキラ雲南比較貸借対照表	1
第2表	株式会社キラキラ雲南比較損益計算書	2
第3表	株式会社キラキラ雲南指定管理施設利用者数の推移	3

- (注) 1 文中の数値は原則表示単位未満を四捨五入し、単位未満の数値を調整した。  
したがって、合計と内訳の計、差引等が一致しない場合もある。
- 2 各表中の符号の用法は、次のとおりである。  
「0.0」・・・該当数値はあるが単位未満のもの 「-」・・・該当数値のないもの

# 財政援助団体等監査報告書

## 第1 監査の種類

財政援助団体等監査（地方自治法第199条第7項）

なお、この監査は雲南市監査基準に準拠して実施した。

## 第2 監査の対象

令和4年度は次の団体を監査対象とした。

団 体	財政的援助等の形態	所 管 課
躍動と安らぎの里づくり鍋山	交付金	地域振興課
松笠振興協議会		
株式会社キラキラ雲南	出資	政策推進課
		社会教育課
		文化財課
	指定管理	社会教育課
文化財課		
		産業施設課

## 第3 監査の期間

令和4年9月16日から令和4年10月11日まで

## 第4 監査の主な実施内容

市が令和3年度に補助金、交付金、負担金、貸付金その他の財政的援助を与えているもの、市が資本金、基本金等を出資しているもの及び公の施設の管理を行わせているものに対し、当該財政的援助の形態に応じた事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、所管部局から団体への指導・監督が適正に行われているかを主眼として監査を実施した。

提出された決算資料及び監査資料等に基づき事務局職員による事前調査を実施し、監査当日は所管部局から聞き取りを行った。

また、対象の団体について現地調査を実施し、市から支出した財政的援助等に係る収支の会計処理状況や出納関係帳票、領収書等の証拠書類の整備状況を確認した。併せて、出資団体については、事業運営や財政状態などについても団体の代表者及び担当者から聞き取りを行った。

## 第5 監査の着眼点

### 1 所管部局監査

#### 【交付金に関する事務】

- ① 交付金の交付決定根拠と法令等への適合性
- ② 交付金の交付目的及び公益上の必要性
- ③ 交付金の額の確定、交付方法、手続き事務
- ④ 交付金の効果及び条件の履行の確認
- ⑤ 交付団体等への指導監督状況

**【出資に関する事務】**

- ① 出資目的に沿った事業の実施状況の把握に努めているか。
- ② 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督が行われているか。

**【公の施設の指定管理に関する事務】**

- ① 管理を行わせる団体の指定は、法、条例等に根拠をおいているか。
- ② 指定管理者の選定は、適正・公正に行われているか。
- ③ 管理に関する協定等の締結は適正に行われているか。
- ④ 協定書等には、必要事項が適正に記載されているか。
- ⑤ 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続き等は適正か。
- ⑥ 事業報告書の閲覧、点検は適切になされているか。
- ⑦ 指定管理者に対して適時かつ適切に報告を求め、調査し、又は指示が行われているか。

**2 団体監査**

**【交付金に関する事務】**

- ① 出納関係帳票の整備、領収書等の証拠書類の整備、保存の確認
- ② 交付金に係る収支の会計処理の確認、会計処理上の責任体制の確認

**【出資に関する事務】**

- ① 設立目的（出資目的に限る。）に沿った事業運営が行われているか。
- ② 経営成績及び財政状態は良好か。

**【公の施設の指定管理に関する事務】**

- ① 施設は関係法令の定めるところにより適切な管理がされているか。
- ② 協定等に基づく義務の履行は適切に行われているか。
- ③ 利用料金の設定、収納等は適正になされているか。
- ④ 利用促進のための努力はなされているか。
- ⑤ 公の施設の管理に係る収支会計経理は適正になされているか。
- ⑥ 他の事業との会計区分は明確になっているか。
- ⑦ 公の施設の管理に係る管理規程、経理規程等の諸規程は整備されているか。

**第6 監査の結果**

**1 地域づくり活動等交付金**

**(1) 監査対象団体の概要**

- ① 躍動と安らぎの里づくり鍋山
  - ア. 世帯数 396 戸
  - イ. 交付額：8,961,000 円
  - ウ. 主な交付金の使途

対象事業	内 訳
地域振興管理費	総務管理費、人事管理費、厚生管理費等
地域振興事業費	各種支援事業、環境整備事業、防災活動事業等
生涯学習事業費	男女共同参画啓発事業、生涯スポーツ事業等

② 松笠振興協議会

ア. 世帯数 93 戸

イ. 交付額：8,461,000 円

ウ. 主な交付金の使途

対 象 事 業	内 訳
地域運営事業費	総務管理費、人件費、その他管理費等
生涯学習事業費	子育て支援事業、各種教室事業、研修事業等
地域福祉事業費	人件費等
地域振興事業費	情報発信事業、環境整備事業、各種部会活動支援、防災活動事業等

③ 所管課

政策企画部 地域振興課

(2) 所管部局監査

監査の対象とした交付金については、監査した限りにおいて、おおむね適正に事務を執行していると認められた。今後も引き続き、公益上の必要性を精査し、公平性・透明性の確保を図りながら、市民の福祉の向上に効果的に寄与するよう努められたい。

なお、その他事務処理上の留意すべき軽微な事項等については、その都度担当職員に個別に指導したので記述を省略した。

〔監査所見〕

それぞれの地域自主組織において、その地域の実情に沿った様々な取り組みが展開され、特に福祉、防災に関する事業は全域的に推進されている。

地域自主組織の活動を持続可能なものとするためには、事務局体制の確保及び安定化が重要であることから、交付金においては、特に人件費、福利厚生部分について適宜見直しを図られるとともに、担い手育成等の人材教育への支援に努められたい。そして地域の課題、意見要望を共有し、協働のまちづくりのさらなる発展に努められたい。

また、統一的な会計システムの導入については、事務の統一化、交付金使途の明確化のため今後も促進されたい。

(3) 団体監査（現地）

各団体とも、補助金等に係る出納その他の事務は、監査した限りにおいて、おおむね適正に処理されていると認めた。

今後も所管部局の指導の下、財政援助の趣旨に基づき、適正な事務の執行に努められたい。

〔監査所見〕

① 躍動と安らぎの里づくり鍋山

躍動と安らぎの里づくり鍋山では、地域の要望に沿った形で様々な事業を展開

し地域の活性化に繋がられている。特に、収益事業及び自主事業をはじめとした地域課題解決型の取り組みは、地域自主組織の活動モデルとなっており、他地域への波及が期待される。

また、綿密な連携のもと、適正な組織運営及び事務執行がなされており、会計においても事業ごとに明確に区分されている。

今後も地域に根差した事業展開を継続し、さらなる発展を目指していただきたい。

## ② 松笠振興協議会

松笠振興協議会では、目的・活動内容ごとに地域振興部会、専門部会に分かれ、効率的な役割分担のもと事業活動が行われている。なかでも、高年齢層の活動が活発であり、地域振興の中で大きな役割を果たされている。

加えて、伝統芸能の分野では若年層、中高年層が積極的に参加されており、地域の活性化・循環が図られている。

また、地区周辺及び各施設の環境整備にも尽力され、地区の環境美化に取り組まれている。

今後も振興計画に沿って、少子高齢化等の地域課題の解決に努められるとともに、地域の更なる発展を目指していただきたい。

## 2 出資及び指定管理

### (1) 株式会社キラキラ雲南の概要

#### ① 設立年月日

平成6年2月28日

#### ② 会社目的

株式会社キラキラ雲南は、次の事業を営むことを目的とする。

ア 各種催し物の企画、制作、運営

イ 文化、体育、社会教育、健康福祉、青少年ホーム、商業、公園等の施設管理、運営及び文化、スポーツ振興、教育、学校支援業務等の受託

ウ 各種商品、食品、飲料、酒類の販売

エ 前各号に付帯する一切の業務

#### ③ 資本金 30,000,000 円

(市出資額 24,000,000 円、資本金に占める割合 80.0%)

#### ④ 組織 (令和4年3月31日現在)

役員 8名 (代表取締役社長1名、取締役5名、監査役2名)

従業員 121名 (正社員16名、臨時等105名)

#### ⑤ 主な事業内容

令和3年度は、文化・スポーツ・公園施設及び勤労青少年ホームの管理・運営 (指定管理)、市立図書館3館の管理・運営 (業務委託)、木次駅前商業施設棟の管理、文化・スポーツ・教育振興事業の企画・運営 (業務委託) 等により、文化・スポーツの振興と地域活性化、健康増進、教育支援、交流人口拡大に取り組んでいる。

また、経営基盤強化事業として、パレット木次店及びシャトレゼ出雲塩治店の経営に取り組んでいる。

⑥ 令和3年度決算状況

令和3年度の財政状況は、参考資料第1表比較貸借対照表のとおりである。

収支状況は、参考資料第2表比較損益計算書のとおりである。売上高は616,613千円で前年度に比べ151,274千円(32.5%)増加し、売上原価は193,974千円で前年度に比べ68,966千円(55.2%)増加している。販売費及び一般管理費は415,980千円で前年度に比べ39,052千円(10.4%)増加している。営業利益は6,658千円となり前年度に比べ43,256千円(118.2%)増加し、経常利益は14,287千円となり前年度に比べ27,023千円(65.4%)減少している。法人税等控除後の当期純利益は104,750千円となり前年度に比べ104,467千円(36,946.2%)増加している。

当期純利益の大幅な増加は、前期までの維持管理引当金を令和3年度決算において特別利益の過年度損益修正として計上したことによるものである。

指定管理施設の利用者数の推移は、参考資料第3表のとおりである。

⑦ 所管課

ア 出資

- ・政策企画部 政策推進課
- ・教育委員会 社会教育課

イ 指定管理（令和3年度に指定しているものに限る。）

- ・教育委員会 社会教育課
- ・教育委員会 文化財課
- ・産業観光部 産業施設課

⑧ 出資

市は、資本金24,000,000円を出資し、発行済株式の総数600株のうち480株を保有している。

⑨ 公の施設の管理

市は、次の8施設の管理運営について、㈱キラキラ雲南を指定している。

施設名	令和3年度指定管理料	指定期間
大東公園（丸子山公園含む）	12,991,000円	R3.4.1～R5.3.31
加茂中央公園	9,559,000円	R3.4.1～R5.3.31
三刀屋文化体育館	22,572,000円	R3.4.1～R5.3.31
B&G海洋センター	51,994,800円	R3.4.1～R4.3.31
加茂文化ホール	46,860,000円	R3.4.1～R5.3.31
古代鉄歌謡館	8,283,000円	R3.4.1～R5.3.31
木次経済文化会館	51,810,000円	R3.4.1～R5.3.31
雲南市勤労青少年ホーム	5,270,100円	R2.4.1～R4.3.31

⑩ 市からの業務委託（主な業務）

令和3年度において市が㈱キラキラ雲南に委託している業務のうち、主な業務は次のとおりである。

業務名	委託料
市立図書館運営業務委託	25,234,000円
雲南市文化事業業務委託	8,399,600円

## (2) 所管部局監査

所管部局監査の結果、着眼した事項について、監査した限りにおいて、おおむね適正に事務を執行していると認められたが、一部改善を要する点が見受けられた。

当団体の社会的重要性は今後も増していくことが予想されるため、出資目的に沿った事業の実施状況の把握のみならず、財政状況の把握・分析も行い、円滑な事業実施に向けた指導に努められたい。

また、その他事務処理上の留意すべき軽微な事項等については、その都度担当職員に個別に指導したので記述を省略した。

### 〔監査所見〕

当団体は、設立時から現在に至るまで、社会的重要性が増していく中で、様々な事業を実施され、事業規模が拡大傾向にある。特に近年から実施されている収益事業については、経営基盤の強化に繋がっているが、事業の性質上、経営が悪化することも想定される。よって、市としても、当団体への指導・監督のあり方について見直しを図るとともに、事業ごとの収支状況（セグメント情報）を毎年度徴取し、経営状況の詳細について把握・分析するよう努められたい。

また、公の施設の指定管理に関する事務について確認したところ、協定書に施設修繕費制限額が明記されていることに対し、募集時の仕様書には金額が明記されていない点が見受けられた。指定管理申請を行う時点で、金額に応じた修繕責任の所在を把握することができるよう、仕様書にも制限額を明記されるよう検討されたい。

## (3) 団体監査（現地）

決算に関する諸帳票は、公正なる会計慣行、会社法諸規定及び企業会計原則に準拠し作成されている。事業運営は出資目的に沿って行われ、市からの委託事業の執行、公の施設管理及び事務処理は、おおむね適正に処理されていると認められたが、次の監査所見に記載する事項については、適切な措置を講じられたい。

なお、その他事務処理上の留意すべき軽微な事項等については、その都度担当者

に個別に指導したので記述を省略した。

### 〔監査所見〕

当団体は市における文化・スポーツの振興をはじめ、行政と協働し様々な事業を展開している。事業数の増加に伴い、設立時と比較して事業、財政等をはじめとした組織の規模は拡大している。今後も安定した組織運営及び経営を維持していくため、経理に関する方針・手続き・処理方法について成文化した経理規程の策定を検討されたい。

会計処理にあたっては、指定管理及び受託業務等に係る公的資金が投入されていること、また、的確な経営判断を行うためにも、部門管理機能を有する会計システムへの変更を検討されたい。



## 第7 むすび

市からの財政的援助等は、その形態にかかわらず、市の貴重な財源によって実施されるものであるため、市は、対象団体が財政的援助等の目的に沿って、事業を実施しているかを適切に指導監督する必要がある。

### 1 交付金について

交付金の交付にあたっては、交付要件、交付額が適正であることに加え、対象団体が実施する事業の補助対象経費区分を明らかにする必要がある。提出された交付申請書や実績報告書に補助対象経費と対象外経費が明確に区別され計上しているかを確認し、適正な事務処理を行うよう指導監督に努められたい。

### 2 出資団体について

市の出資団体は、多様化・高度化する行政需要に対し、効率的かつ効果的な公共サービスを提供するため、民間ならではの経営ノウハウによるメリットを活かした事業運営により、行政の補完的、代行的な役割を果たしてきた。

一方、特に一定以上の出資割合を有する第三セクターにおいては、市長等の役員就任により市が運営責任の一端を担うことになることを例とし、経営が著しく悪化した場合には、市の財政に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。

当該団体の運営については、市として一定の責任を有する必要があるものの、当該団体は法人格を持った独立した団体であることから、その経営は、当該団体の主体的な責任の下に行われるべきであり、出資者としての関与の在り方については慎重な対応が求められる。

市では、平成17年に策定された「雲南市第三セクター事業等マネジメント指針（以下「指針」という。）」により、出資団体への指導・監督が行われてきたところであるが、策定から17年が経過していることから市としての責任範囲や、当該団体に損失が生じた場合の対応等について、改めて明確に定める必要がある。よって、総務省が示している「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」を基に指針を改定し、市の関与の在り方等について見直しを図るよう努められたい。

また、当該団体が出資目的に沿って事業を実施されているか適切に指導・監督するため、出資団体に係る総括的な担当部局を明確にし、画一的な指導監督ができる体制を構築するとともに、業務運営指導所管課及びその他事業別の関係部局からの情報集約に努められたい。

### 3 指定管理について

指定管理者制度は、公の施設の管理に民間のノウハウを活用することで、市民サービスの向上や経費の縮減等を図ることを目的とした制度である。市は施設の設置者として、指定管理者による管理・運営が協定書・仕様書等に基づき適正に行われているか、事業収支は適正か、利用者に対してサービスが安定的に提供されているか等について、常に点検・調査し、指定管理者による管理・運営の実態把握に努めることが重要である。

今後も、市と指定管理者による活発な情報交換や必要に応じた市の指導・助言等により、利用者満足度を高め、利用促進を図ることで、各施設が地域活性化の拠点施設として、市民文化の創造及び交流の促進に寄与できるよう努められたい。

# 参 考 資 料

第1表 株式会社キラキラ雲南比較貸借対照表

第2表 株式会社キラキラ雲南比較損益計算書

第3表 株式会社キラキラ雲南指定管理施設利用者数の推移

第1表 株式会社キラキラ雲南比較貸借対照表

(単位:円・%)

科 目	令和3年度	令和2年度	増減額	前年度対比
1 資産の部	178,011,945	176,225,916	1,786,029	1.0%
1 流動資産	110,416,485	107,853,797	2,562,688	2.4%
現 金	2,737,716	3,633,136	△ 895,420	△24.6%
普 通 預 金	57,796,814	57,566,275	230,539	0.4%
定 期 預 金	5,039,486	5,039,400	86	0.0%
商 品	8,326,791	4,629,259	3,697,532	79.9%
立 替 金	0	169,343	△ 169,343	皆減
未 収 入 金	28,321,425	33,675,890	△ 5,354,465	△15.9%
仮 払 金	7,881,471	3,254,300	4,627,171	142.2%
預 け 金	482,710	471,790	10,920	2.3%
貸 倒 引 当 金	△ 169,928	△ 585,596	415,668	△71.0%
2 固定資産	67,595,460	68,372,119	△ 776,659	△1.1%
(1) 有形固定資産	55,094,185	56,422,794	△ 1,328,609	△2.4%
建 物	37,240,000	39,080,000	△ 1,840,000	△4.7%
付 属 設 備	4,090,219	4,512,443	△ 422,224	△9.4%
構 築 物	7,098,678	7,727,190	△ 628,512	△8.1%
機 械 装 置	991,254	1,143,314	△ 152,060	△13.3%
車 両 運 搬 具	236,830	5	236,825	4,736,500.0%
工 具 器 具 備 品	2,909,523	3,959,842	△ 1,050,319	△26.5%
繰 延 資 産	2,527,681	0	2,527,681	皆増
(2) 無形固定資産	5,501,275	4,949,325	551,950	11.2%
借 地 権	4,949,325	4,949,325	0	—
ソ フ ト ウ ェ ア	551,950	0	551,950	皆増
(3) 投資その他の資産	7,000,000	7,000,000	0	—
保 証 金	7,000,000	7,000,000	0	—
2 負債の部	37,101,576	140,065,285	△ 102,963,709	△73.5%
1 流動負債	37,101,576	47,765,285	△ 10,663,709	△22.3%
未 払 金	18,095,781	18,679,038	△ 583,257	△3.1%
納 税 引 当 金	3,803,100	15,337,800	△ 11,534,700	△75.2%
預 り 金	529,945	712,917	△ 182,972	△25.7%
預 り 敷 金	6,410,250	6,410,250	0	—
仮 受 金	11,400	338,080	△ 326,680	△96.6%
未 払 消 費 税 等	8,251,100	6,287,200	1,963,900	31.2%
2 引当金	0	92,300,000	△ 92,300,000	皆減
維持管理引当金	0	92,300,000	△ 92,300,000	皆減
3 純資産の部(株主資本)	140,910,369	36,160,631	104,749,738	289.7%
1 資本金	30,000,000	30,000,000	0	—
2 利益剰余金	110,910,369	6,160,631	104,749,738	1,700.3%
(1) その他利益剰余金	110,910,369	6,160,631	104,749,738	1,700.3%
繰越利益剰余金	110,910,369	6,160,631	104,749,738	1,700.3%
負債純資産合計	178,011,945	176,225,916	1,786,029	1.0%

第2表 株式会社キラキラ雲南比較損益計算書

(単位:円・%)

科 目	令和3年度	令和2年度	増減額	前年度対比
1 売上高	616,613,192	465,339,362	151,273,830	32.5%
委託料収入	267,792,381	280,232,499	△ 12,440,118	△4.4%
貸館料収入	23,075,410	16,997,051	6,078,359	35.8%
入場料収入	2,763,764	1,064,273	1,699,491	159.7%
企画運営収入	633,610	667,037	△ 33,427	△5.0%
参加料収入	13,533,360	10,861,482	2,671,878	24.6%
商品売上	248,637,136	155,517,020	93,120,116	59.9%
家賃収入	31,200,045	0	31,200,045	皆増
共益費収入	28,977,486	0	28,977,486	皆増
2 売上原価	193,974,496	125,008,212	68,966,284	55.2%
期首商品棚卸高	4,629,259	2,663,843	1,965,416	73.8%
商品仕入	179,403,492	113,490,827	65,912,665	58.1%
当期製品製造原価	18,268,536	13,482,801	4,785,735	35.5%
合 計	202,301,287	129,637,471	72,663,816	56.1%
期末商品棚卸高	8,326,791	4,629,259	3,697,532	79.9%
売上総利益	422,638,696	340,331,150	82,307,546	24.2%
3 販売費及び一般管理費	415,980,379	376,928,471	39,051,908	10.4%
役員報酬	7,780,000	7,647,332	132,668	1.7%
給料手当	163,663,000	154,725,741	8,937,259	5.8%
賞与	15,043,683	14,335,067	708,616	4.9%
賃金	1,320,740	1,113,271	207,469	18.6%
各種手当	3,119,524	2,186,660	932,864	42.7%
法定福利費	22,850,020	21,717,391	1,132,629	5.2%
福利厚生費	3,942,815	3,613,740	329,075	9.1%
広告宣伝費	4,451,884	3,491,386	960,498	27.5%
旅費交通費	70,605	442,310	△ 371,705	△84.0%
接待交際費	167,475	258,211	△ 90,736	△35.1%
通信費	2,052,994	2,254,237	△ 201,243	△8.9%
水道光熱費	77,845,094	66,579,698	11,265,396	16.9%
租税公課	1,091,405	241,230	850,175	352.4%
消耗品費	11,370,773	11,400,750	△ 29,977	△0.3%
賃借料	10,551,895	6,856,355	3,695,540	53.9%
修繕費	6,142,004	3,023,410	3,118,594	103.1%
保険料	1,681,265	1,793,290	△ 112,025	△6.2%
支払手数料	1,354,329	1,659,110	△ 304,781	△18.4%
減価償却費	5,373,876	4,921,748	452,128	9.2%
貸倒引当金繰入	169,928	585,596	△ 415,668	△71.0%
燃料費	14,371,089	10,948,806	3,422,283	31.3%
維持管理費	50,707,248	48,592,795	2,114,453	4.4%
外注設営費	7,071,717	4,979,366	2,092,351	42.0%

科 目		令和3年度	令和2年度	増減額	前年度対比
	会 議 費	50,999	33,405	17,594	52.7%
	諸 会 費	617,522	789,726	△ 172,204	△21.8%
	繰 延 資 産 償 却 費	72,219	0	72,219	皆増
	雑 費	3,046,276	2,737,840	308,436	11.3%
	営 業 利 益	6,658,317	△ 36,597,321	43,255,638	118.2%
4	営 業 外 収 益	9,149,773	78,668,051	△ 69,518,278	△88.4%
	受 取 利 息	891	1,306	△ 415	△31.8%
	事 業 費 雑 収 入	2,184,540	5,257,196	△ 3,072,656	△58.4%
	家 賃 収 入	0	30,827,385	△ 30,827,385	皆減
	貸 倒 引 当 金 戻 入	585,596	0	585,596	皆増
	雑 収 入	6,378,746	42,582,164	△ 36,203,418	△85.0%
5	営 業 外 費 用	1,521,221	760,705	760,516	100.0%
	寄 附 金	700,000	700,000	0	—
	貸 倒 損 失	794,445	0	794,445	皆増
	雑 損 失	26,776	60,705	△ 33,929	△55.9%
	経 常 利 益	14,286,869	41,310,025	△ 27,023,156	△65.4%
6	特 別 利 益	94,355,225	3,310,529	91,044,696	2,750.2%
	補 助 金 収 入	2,055,225	3,310,529	△ 1,255,304	△37.9%
	過 年 度 損 益 修 正	92,300,000	0	92,300,000	皆増
7	特 別 損 失	89,256	29,000,000	△ 28,910,744	△99.7%
	固 定 資 産 除 却 損	1	0	1	皆増
	前 期 損 益 修 正 損	89,255	0	89,255	皆増
	維 持 管 理 繰 入 損	0	29,000,000	△ 29,000,000	皆減
	税 引 前 当 期 純 利 益	108,552,838	15,620,554	92,932,284	594.9%
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,803,100	15,337,800	△ 11,534,700	△75.2%
	当 期 純 利 益	104,749,738	282,754	104,466,984	36,946.2%

第3表 株式会社キラキラ雲南指定管理施設利用者数の推移

(単位:人)

施 設 名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
大東公園 (丸子山公園含む)	39,973	35,775	48,162
加茂中央公園	27,516	18,347	35,156
三刀屋文化体育館	38,057	29,648	54,605
B&G 海洋センター	55,719	47,123	60,813
加茂文化ホール	20,751	17,485	51,766
古代鉄歌謡館	3,706	3,041	8,526
木次経済文化会館	15,160	8,789	31,238
雲南市勤労青少年ホーム	3,519	3,016	※1 4,480

※1 令和元年度において雲南市勤労青少年ホームは市の管理であったため、参考数値とする。